

2019/10/9

株式会社 DNA チップ研究所

TEL: 03(5777)1700

E-mail: dnachip-support@dna-chip.co.jp

共同研究成果の論文発表のお知らせ

順天堂大学医学部附属静岡病院、株式会社 DNA チップ研究所の共同研究チームは、胃がんの遺伝子変異検出の評価を行い、その研究成果が「Molecular and Clinical Oncology」に掲載されましたのでお知らせ致します。

題名 : Detection of gene mutations in gastric cancer tissues using a commercial sequencing panel

掲載 URL:

<https://www.spandidos-publications.com/mco/11/5/455/abstract>

胃がんは 5 番目に多くみられるがんであり、がん関連死亡要因の 3 番目と考えられています。がんは遺伝子の病気とも言われ、原因遺伝子の変異は臨床情報と関連すると考えられており、遺伝子変異を検出することで適した薬剤選択による治療につながります。

本研究では、がん患者から摘出した腫瘍組織について遺伝子変異解析を行い、予後との関連解析を報告しました。当社は、次世代シーケンズを用いた遺伝子変異解析を行いました。

<用語解説>

次世代シーケンサー:塩基配列を高速で検出する装置。1 回で複数から数百の遺伝子変異を検出することができ、次世代シーケンサーを用いたがん遺伝子パネル検査が 2019 年 6 月に保険収載された。